
屋上エデン

源雪風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

屋上エデン

【コード】

N6182Q

【作者名】

源雪風

【あらすじ】

屋上でしぬかとおもいきや……。

屋上から見る空は快晴だ。

今日も死にたい。

フェンスを乗り越えて見るいつもの世界は、さよならって言ってる
みたいだ。

ここから落ちれば地面が受け止めてくれる。

靴を脱いで落ちかけたその時、手を誰かが掴んでいた。

誰かの手は放してくれない。

宙ぶらりんになる。

不思議と抵抗はしなかった。

その手が温かったから。

強い力で引つ張られ、屋上に戻る。

「大丈夫？」

誰かは言う。

何故か泣きそうになる。

部屋で独り首つりをしなかった理由が分かった。

誰かに助けて欲しかった。

地面ではなく、人に受け止めて欲しかった。

大丈夫って言うて欲しかった。

悲しんでもらいたかった。

必要とされたかった。

手の温かさが「大丈夫？」って言葉が、助けてくれた。

屋上は地獄だった。

独りで震えていた。

消えてしまいたいと何度も思った。

叫んでも泣いても、誰にも届かなかった。

「お前は必要ない」って言われてるみたいだった。

でも今は屋上は天国だ。

もう独りじゃない。

下らないことを言い合って笑いあえる友達がいる。
必要とされている。

空は快晴だ。

今日も生きたい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6182q/>

屋上エデン

2011年2月4日00時31分発行